

# おすすめの世界の昔話

へらない稲たばく朝鮮のむかしばなし>【岩崎書店】

(作)李錦玉 (絵)朴民宜

小学3年生の国語の教科書に掲載されている『さんねん峠』を世に送り出した在日朝鮮人二世の名コンビの作品。

チョルとトルの兄弟が父の遺言を重んじ、また互いを尊敬し、互いの幸せを願い織りなす物語。日本人にも通じる誠心に素直に納得&感動できます!!



むかしむかし とらとねこは... <中国のむかし話より>【福音館書店】

(文・絵)大島英太郎

昔とらは、のろまで獲物を捕るのが下手で、すばしいねこに、上手に捕る方法を教わります。獲物に近づく方法・はやく走る方法・とび降りる方法。修行を積んだとらは、ねこの味が知りたくなり...!?



むらの英雄<エチオピアのむかしばなし>【ペンギン社】

(文)渡辺茂男 (絵)西村繁男

村の12人の男たちが、町へ行った帰り道。仲間が揃っているか気になって人数を数えてみたら、自分を数え忘れてしまい「大変だ!!」「ヒョウにやられた?!」「でっかいメスヒョウだったぞ!」話はどんどん大きくなって...!?



きつねとうさぎ<ロシアの昔話>【福音館書店】

(絵)フランチェスカ・ヤールブソア

(構成)ユーリ・ノルシュテイン

(訳)こじまひろこ

きつねは氷の家に住み、木の皮の家に住んでいるうさぎをバカにしていました。ところが、春になるときつねの家は溶けてなくなり、うさぎの家をむりやり自分のものに。うさぎが悲しくて泣いていると...

このお話は、題名違いの本『うさぎのいえ』『もりのともだち』があります。



ゴナンとかいぶつくモンゴルの昔話より>【借成社】

(文)イチンノロブ・ガンバートル

(絵)パーサンスレン・ボロルマー(訳)津田紀子

小さいのに力持ちの男の子ゴナン。みんなの宝物を奪っていったマンガスを追いかけて、白い馬を走らせる。勝負を決めるのは、やっぱり相撲!!

作者はモンゴル人コンビです。



わらのうしくウクライナの昔話>【福音館書店】

(文)内田莉莎子 (絵)ワレンチン・ゴルディチューク

わらのうしの罫にかかり、おじいさんに捕まったのは、くまと狼と狐。逃がしてくれたら、蜂蜜を、羊を、鶏を連れてくると約束します。

有名な「てぶくろ」、「セルコ」作者コンビの絵本。

